



6/3 第6期総合計画後期基本計画第1回審議会
後期基本計画策定に向け始動

まちづくりの指針となる町総合計画の後期基本計画を検討する第1回会議が、町地域交流センターで開かれました。

産業や福祉、教育などの団体から推薦者と一般公募を含めた28人を委員として委嘱。当日出席した委員に石井町長から委嘱状が手渡されました。石井町長は「若い世代からベテランまで頼もしいメンバーが揃い、強い期待感を抱いている」とあいさつし、会長に選任された田口洋氏に諮問書を手渡しました。

後期基本計画は町議会の議決を経て、令和4年度内に策定完了の予定です。



↑諮問書を受ける田口洋会長(右)

↓町公認キャラクターいぐらすじと雄夢の前でPR体験を行う雄武高校生



6/9~10 雄武高校インターンシップ
役場の仕事を体験

雄武高校の生徒が町内の事業所で職場体験学習を行うインターンシップが実施され、役場にも3人の生徒が訪れました。

高校生は2日間にわたり、総務課や産業振興課などさまざまな部署で、簡単な文書の作成や町有施設の見学など役場業務の一部を体験しました。役場の仕事を体験した生徒は「普段体験することがない貴重な体験をすることができた」「これからの進路の参考にします」と話してくれました。

↓信号機の押しボタンを押す園児



6/20 青空交通安全教室
横断歩道は正しく渡ろう

若草保育所に通う年長園児を対象とした青空交通安全教室が行われました。

園児たちは、雄武駐在所の青木俊晃さんから信号機と横断歩道の安全な渡り方などについて説明を受けました。その後、教わった横断歩道の渡り方を思い出しながら車が来ていないか左右を確認し、大きく手を挙げて横断歩道を渡りました。青木さんは講評で「今日勉強したことを忘れず、事故などに遭わないよう気をつけてください」と話していました。

6/11 雄武小学校運動会
仲間と勝利をつかみとれ

この日、雄武小学校で運動会が開催されました。今年は「仲間と勝利をつかみとれ 魂の運動会」をテーマに、1年生から6年生までが力を合わせて各種競技に挑みました。

低学年・高学年に分かれて行われた対抗リレーでは、4つの色ごとに分かれた児童たちがコースを駆け抜け、スムーズなパスができるよう大きな声を掛け合い、練習の成果を発揮して最後まであきらめない走りを見せてくれました。



↑運動会の対抗リレーの様子



6/18 雄武町芸術文化講演事業「文化講演会」
「夢への挑戦」

この日、雄武町民センターにおいて、北京冬季オリンピックのカーリング女子で銀メダルを獲得した「ロコ・ソラーレ」のスキップ^{*1} 藤澤五月選手による文化講演が行われ、町民約150人の来場がありました。

講話では、藤澤選手が「夢への挑戦」をテーマにオリンピック選手を志した幼少期からのカーリングに対する思いや、オリンピックに出場するまでの葛藤や苦悩、裏話について話していました。

講話の後半では、藤澤選手が実際にしていたメンタルトレーニングの一部を紹介し、来場者と一緒に挑戦。時折出題されたクイズでは、藤澤選手がステージから降りて回答者の元まで行き、ステッカーや直筆サイン入り色紙をプレゼントするなどのサービスがあり、会場を盛り上げていました。

^{*1}スキップ：7投目、8投目を投げる人。作戦を組み立て、指示を出す人



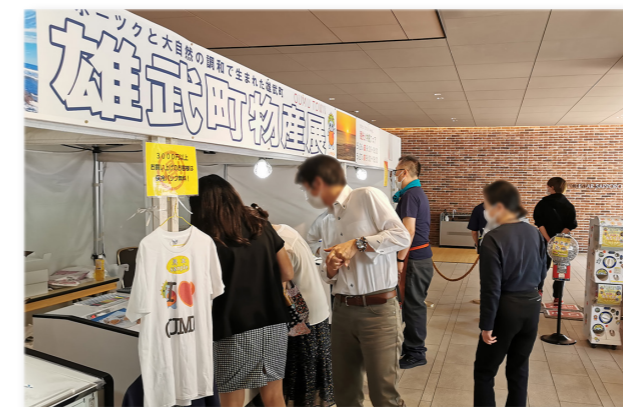
↑文化講演会の様子

5/26~27 雄武町物産展(ホテルポールスター札幌)
3年ぶりの開催に大盛況

札幌市内にあるホテルポールスター札幌で、雄武町物産展が3年ぶりに開催されました。

雄武町で水揚げされた旬の毛ガニやホタテ、塩水ウニなどの海産物のほか、鞆そばや昆布うどんなど雄武町の特産品が店先に並べられ、多くのお客さんに足を運んでもらいました。町公認キャラクターのいぐらすじも街頭に立ち、道行く人に雄武町をPRしました。訪れたお客さんからは「雄武町の海産物は美味しいから買うことができ嬉しい」など物産展の開催を楽しみにしていたという声が多く聞かれました。

※今月号の地域おこし協力隊活動レポート(8ページ)でも紹介しています。



↑雄武町物産展の様子

↓ラダーを使ったトレーニングをする児童



5/28 かけっこ教室(スポーツセンター)
目指せ未来のアスリート

この日、スポーツセンターで雄武高校陸上競技部顧問の石田白文先生を講師に招いた「かけっこ教室」が開催され、町内の児童32人が参加しました。

二人一組で走りながらボールをパスをするトレーニング、ラダーやハードルなどを使ったトレーニングなどを通して走り方のコツについて学び、体力づくりを行いました。また、リレーのバトンパスの仕方やコツなどについて、石田先生から理屈と実践を交えた話があり、参加した児童は「運動会で今日学んだことを活かして一等賞を取りたいです」と話してくれました。